

07年度学校評価アンケートまとめ

回答数 教員「学校経営」59人(昨年68)・「教育活動」59人(同70)
生徒617人(同625)、保護者276人(同307)

教・・・教員対象設問、生・・・生徒対象設問、保・・・保護者対象設問
Yes・・・「そう思う」「ややそう思う」の合算値
・・・・・・改善されている・・・・・・悪化している・・・・・・変化なし

1. [学校経営について]	06年度	07年度
教：共通理解し、十分な取組みがされている	Yes 46%	35%
教：(校務分掌)人員構成、人数の配置が適切である	Yes 37%	20%
教：反省点、次年度課題等について組織的に検討できた	Yes 46%	45%
教：職員のなかで施設・設備の設置について十分な話し合いと理解が得られている	Yes 39%	31%
教：教育環境として生徒の安全や衛生管理が配慮されている	Yes 43%	33%
教：実態に即した防犯計画が整備され、速やかな対応がされている	Yes 50%	44%

教職員の回答が、06年度に比してマイナス評価がどの項目も増えており、その割合が教職員の半数から3分の2に及んでいます。教職員の十分な話し合いを行いにくい学校のシステムと多忙化のなかで、重要な難しい継続課題ですが、引き続き検討します。

2. [教育活動について]

ア. 学校教育活動と特色

	06年度	07年度
教：教職員の共通理解・連携ができています	Yes 55%	43%
教：教育目標・教育方針を踏まえた編成となっている	Yes 79%	76%
生：入学してよかったと思いますか	Yes 80%	78%
保：入学させてよかったと思いますか	Yes 89%	93%
生：単位制でよかったと思いますか	Yes 74%	73%
保：単位制でよかったと思いますか	Yes 89%	90%
生：総合学科でよかったと思いますか	Yes 91%	77%
保：総合学科でよかったと思いますか	Yes 95%	95%
生：教育目標を理解していますか	Yes 45%	49%
保：教育目標や教育方針をきちんと説明していると思いますか	Yes 70%	80%

教職員の共通理解・連携など評価が下がっているのは引き続きの課題です。期待が込められた保護者の評価は励みになりますが、生徒の学校に対する評価が下がっているのは気になります。授業やホームルーム、三者懇談会などの機会を通して生徒の声を反映した学校にしていくために何が必要か話し合い、引き続き検討を続けます。

イ. 教育環境整備

	06年度	07年度
教：施設・設備の設置について十分な話し合いと理解が得られている	Yes 38%	31%
生：教育環境(施設・設備)は充実していると思いますか	Yes 45%	56%
保：教育環境(施設・設備)は充実していると思いますか	Yes 63%	64%

教職員・保護者の回答に比して、生徒の評価が低いのは重要です。生徒の声や要求をふまえて教育環境の整備・充実をはかっていきます。また、絶対的に限界ある施設・設備の条件の問題については行政とも話し合います。

ウ. 学習指導

	06年度	07年度
教：指導内容や指導方法は十分な話し合いのもと、三部での共通理解が得られている	Yes 48%	41%
教：卒業までの3,4年間の指導計画が立てられている	Yes 59%	69%
生：シラバスの(講義概論冊子)の説明はわかりやすいですか	Yes 58%	73%
保：学校生活および授業概要の説明はわかりやすいですか	Yes 68%	81%
生：生徒にわかりやすい学習指導をしていると思いますか	Yes 62%	63%
保：生徒にわかりやすい学習指導をしていると思いますか	Yes 78%	86%
生：生徒は、学習に対して自主的に取り組んでいると思いますか	Yes 70%	70%
保：生徒は、学習に対して自主的に取り組んでいると思いますか	Yes 58%	57%
生：成績の評価は適切だと思いますか	Yes 67%	68%
保：成績の評価は適切だと思いますか	Yes 90%	90%

保護者の高い評価には励まされます。生徒の学習に対する評価もよくなっていることは生徒と教職員の努力の成果といってもいいでしょう。生徒が学ぶ喜びを感じられる授業にしていくために、引き続き双方が努力する必要があります。

エ．生活・安全指導

06年度 07年度

教：生徒の安全を図る上で、地域や家庭との連携のある取組がされている	Yes	73%	57%
生：安心して学校生活を楽しめるところになっていきますか	Yes	58%	56%
保：お子さんを安心して通わせられる学校だと思えますか	Yes	83%	84%
教：教員間、教師生徒間の信頼関係を築く方向で取組がされている	Yes	78%	71%
生：進路について気軽に先生に相談することができますか	Yes	52%	58%
生：相談事や悩み事について相談できる先生はいますか	Yes	44%	51%
教：生徒が自己理解を深め、自分の適性を理解できるよう指導助言しているか	Yes	73%	71%
教：生徒が自分の将来像を描き、それに向かって努力できるよう指導助言しているか	Yes	69%	69%
生：生徒同士のトラブルや学校内での問題はないと思えますか	Yes	42%	44%
保：生徒同士のトラブルや学校内での問題はないと思えますか	Yes	60%	62%
生：問題解決のため、速やかな対応がなされていると思えますか	Yes	40%	48%
保：問題の解決のための指導・助言は適切になされていると思えますか	Yes	70%	73%
教：人権に配慮し、快適な学校生活ができるような指導計画を立てられている	Yes	92%	88%
生：いじめや差別など人権に対する指導はしっかりしていると思えますか	Yes	43%	46%
保：いじめや差別など人権に対する指導はしっかりしていると思えますか	Yes	68%	73%
教：健康・安全、事故防止への配慮がなされていたか	Yes	88%	78%
生：健康や安全面、事故防止への配慮がされていると思えますか	Yes	56%	56%
保：健康や安全面、事故防止への配慮がされていると思えますか	Yes	77%	75%

教職員と家庭・地域との連携は引き続き難しい重要な課題です。生活・安全・進路面での教職員の自己評価は低くはありませんが、低化しているのは課題です。生徒の評価はこれらの点でも厳しい評価となっております。生徒の声をよく聞いて改善していくことが 引き続きの課題です。

オ．学校行事、特別活動など

06年度 07年度

教：各種の行事が年間通してバランスよく配置できている	Yes	46%	42%
教：行事を通して生徒の社会性や人間性を育むことができている	Yes	51%	49%
生：行事に参加して、協調性や社会性が育まれたと思えますか	Yes	45%	52%
保：いろいろな行事や活動などから、達成感や充実感を得られていると思えますか	Yes	63%	68%
生：三部制の特色を生かした学校行事・生徒会活動ができていると思えますか	Yes	42%	49%
保：授業以外の諸活動は、三部制の特色を生かしたものだと思えますか	Yes	60%	66%
教：生徒の希望に合った、活動内容がされている	Yes	74%	69%
教：生徒が充実した学校生活ができるように支援できている	Yes	68%	68%
生：授業以外の諸活動を通して、達成感や充実感を得られていますか	Yes	48%	52%
保：授業以外のいろいろな活動で、協調性や社会性が育まれたと思えますか	Yes	67%	71%

全体として、三者の評価が格別に高い評価になっていないのは、三部制や施設・設備面での制約から来るところが大きいと考えられます。そのなかでも保護者・生徒のマイナス評価が少し改善されている反面、教職員の方が厳しい評価になっています。やりたくてもできないもどかしさの発言とも言えます。

3．全体を通して

	学校経営	教育活動	生徒	保護者
	5	7	16	20
	21	15	9	4
	2	2	2	3

学校評価は教職員・保護者の評価が高く、生徒の評価が厳しい、という評価になりがちですが、今回は生徒・保護者の評価が若干でも改善されている反面、教職員の評価が厳しくなっています。横浜総合高校のシステムの中で、教職員が納得いく教育活動を展開できるか、引き続き教職員だけではなく行政を含めた検討が必要です。